

フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



愛知県がん診療拠点病院の役割

副院長 村瀬 賢一

現代は日本人の2人に1人が一生涯のうちに身体のどこかに「がん」ができてしまう時代です。がん対策基本法をもとに行政面では各地域で拠点病院の整備が進み、当院も今年4月より愛知県がん診療拠点病院に指定されています。この拠点病院には以下の3点がまず役割として求められています。

- # 専門的ながん医療の提供
- # 地域におけるがん診療連携協力
- # がん患者に対する相談支援および情報提供

当院でもこの役割を担うために、日々の診療とともに各種委員会を中心としてがん診療に携わる各科医師、看護師、薬剤師、検査技師、リハビリ療法士、栄養士、ソーシャルワーカーなど職員間の連携を常時緊

密に図り、院内、院外の研修会、セミナーなどを積極的に企画、開催して当院のがん診療のレベル向上に努めています。しかし今後の課題も非常に多くあります。ここ数年、がんの薬物療法は従来の化学療法に加えて、「個別化医療」とよばれる多種の分子標的薬の登場により、副作用の管理を含めそれらの薬剤を使いこなすため、より専門的な知識や経験が求められています。また緩和ケアもがん診療の重要な柱です。がんの痛みを取り除き苦しまないで人生を全うしていただくのみではなく、高齢化社会を迎え今後在宅を中心に患者さんとその介護者、ご家族を支えることが地域連携などに求められる時代になるでしょう。当院はこれからも一歩一歩努力して地域の皆様に質の高いがん医療を提供できる病院をめざします。

今月号のお知らせ

- ①愛知県がん診療拠点病院の役割
.....副院長 村瀬 賢一
- ②頭頸部癌について
.....耳鼻咽喉科部長 安藤 篤
- ③当院脳ドックについて
.....神経内科部長 梅村 敏隆

④禁煙外来を始めました!

.....呼吸器内科部長 松尾 正樹

⑤臨床検査技師の役割

.....臨床検査科技師長 福田 隆広

⑥私の車いす生活

⑦認定看護師のご紹介

⑧市民セミナー開催のお知らせ

⑧編集後記

⑧理念・基本方針

医師



頭頸部癌について

耳鼻咽喉科部長 安藤 篤

皆さん今日は。皆さんは頭頸部癌という言葉に耳にされたことはありますか？おそらく、ほとんどの方は聞かれたことがないのではないのでしょうか？

耳、鼻、のどといった頭から首にかけてできる悪性腫瘍の総称です。(ただし、眼球および脳、脊髄、脊椎を除きます。)今回はこの皆さんにはあまりなじみがない病気についてお話しします。

頭頸部癌は全癌の5%程度しかありません。さらに、舌癌、咽頭癌、喉頭癌と細かく分けていくとその一つ一つの臓器についての数はとても小さくなります。しかし、近年高齢化とともにその発生率が増加傾向にあり、今後も増加していくことが予想されます。また、人パピローマウイルスに関連した若年者の口腔がん、咽頭癌の増加が欧米では問題となっております。

頭頸部領域は、しゃべることや食べること、味やにおいといった感覚と関連しており生活の質に重要な役割を持っています。また、他の臓器との距離が小さく機能を残しながらしっかりと治療を行うことが難しいのです。進行がんでは基本的には標準的治療は手術療法となります。その場合、

大きな機能障害を残すことが予想されます。ただし、近年では抗がん剤治療、放射線治療の発達により手術を望まれない方にも以前より根治性が高い治療が提供できるようになってきており、治療の選択肢が増えてきています。残念ながら、手術療法以外の場合でも生活に大きな不自由が残る場合もあります。病気が治るためにはもちろんですが、機能障害を軽くし、よりよく治るためにも癌の早期発見がとても重要です。幸いなことに口の中やのど、鼻の中は比較的容易に観察することができます。又最近ではNBIといった早期ガンの発見に有用な器具が開発されています。(もちろん万能ではありません。)

この病気の症状はのどが痛い、飲み込むとつかえる、のどに何かできている、首が腫れた、鼻血が出る、においがしないといったものです。そうです。かぜをひいた時や蓄膿症の時と同じような症状です。そのため、上記の症状が長く続く場合には放置せずに耳鼻咽喉科に受診するようにしてください。

喫煙や飲酒(特にすぐ顔が赤くなる人はより危険です)が発がんの危険因子です。お好きな方は特に注意が必要です。

★「フィリア・レター」は、中部ろうさい病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。



医師



当院脳ドックについて

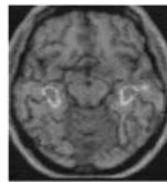
神経内科部長 梅村 敏隆

我が国は現在、平均寿命82.6歳とこれまでにない長寿国となっています。しかし、その一方で寝たきりの方も年々増加しており、その原因の第1位が脳卒中を主体とした脳血管疾患であります(平成19年度国民生活基礎調査で35.5%)。脳卒中は日本人の死亡原因の第3位であり、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血が主な疾患です。近年でも長嶋茂雄巨人軍元監督やオシム元日本代表監督が脳梗塞で倒れ、木村拓也巨人軍コーチがくも膜下出血で亡くなったニュースは記憶に新しいところです。この国民病である脳卒中を制圧することこそ生活の質(QOL)を高め、健康長寿を促進することにつながります。そのためには脳卒中を発症しないための予防が非常に重要であり、脳ドックを受診することで疾患の早期診断ができれば発症予防も可能になるわけです。

当院脳ドックで施行されている検査について簡単に説明いたします。脳ドックは画像診断が必須であり、頭部MRI/MRAで無症候性脳梗塞(いわゆる隠れ脳梗塞)や大脳白質病変(細い血管レベルの虚血性変化)、脳微小出血、未破裂脳動脈瘤、脳腫瘍、脳動静脈奇形、もやもや病などを発見することが可能です。特に頻度の高い無症候性脳梗塞と白質病変に関しては、進展すれば将来の脳卒中発症リスクを高めるだけでなく、現在特に問題となっている認知症の発症にも関連するため早期診断が極めて重要と言えます。また未破裂脳動脈

瘤などが発見されれば、予防的外科治療の適応に関して脳外科専門医から適切なアドバイスがあります。近年、食生活の欧米化に伴い我が国でも増加している頸動脈病変に関しては、まずは手軽に検査可能な頸動脈超音波で評価されます。頸動脈に高度な狭窄や脳梗塞のリスクになる危険なプラークが見つければ、さらに詳細な検査(保険診療)を施行し、脳卒中専門医と脳外科専門医のディスカッションが行われ治療方針が決まります。また当院では従来から生活習慣病と動脈硬化の関連について臨床研究も行っており、脳ドックではCAVI/ABIを計測し、四肢の動脈の硬さと詰まりの程度を評価しています。

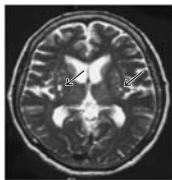
最近の脳ドックは脳卒中の予防のみならず、認知症の早期診断の重要性も問われています。当院でも昨年度から認知症ドックを開始していますので、物忘れが心配な方には是非、認知症ドックをおすすめします。タッチパネルによる簡便な認知テストやコンピューターソフトを利用した画像解析を行っており、近年増加しているアルツハイマー病の早期診断の一助になるかと思えます。



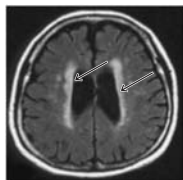
VSRADで両側頭葉内側部の萎縮を認める



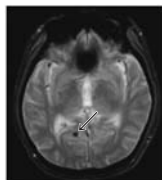
タッチパネルによる物忘れ相談プログラム



無症候性脳梗塞



脳室周囲白質病変



微小出血

当院脳ドックは、脳血管疾患および認知症の早期診断と予防を最大の目的とし、質の高い脳ドック診療を目指した結果、平成23年度には日本脳ドック学会施設認定を取得しました。今後もより多くの受診者の皆さまに満足していただけるよう努力していく所存であります。

★中部ろうさい病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。



医師



禁煙外来を始めました！

呼吸器内科部長 松尾 正樹

当院では平成22年4月より敷地内全面禁煙となりました。これを受けて、本年4月より呼吸器内科にて禁煙外来を始めましたので簡単にご紹介します。

◆タバコとその害

タバコはナス科の植物で中南米原産といわれ、パイプタバコや葉巻として16世紀以降に全世界に広がったそうです。現在日本においては、さまざまな取り組みによって平成21年時点での喫煙率は男性38.9%、女性11.9%と徐々に低下していますが、諸外国と比べると高いとされています。タバコ煙は4000種類以上の化学物質からなり、200種類以上の有害物質、60種類以上の発がん物質が含まれています。そのため、肺がんのみならず、口腔がんや喉頭がんなど全身のがんができやすくなるのが分かっています。また、脳卒中や心筋梗塞などの血管がつまる病気も起こりやすくなります。現在日本では約11万人がタバコによって死亡しているとされ、喫煙者は非喫煙者よりも5～10年寿命が短いという研究結果もあります。

◆禁煙は難しい？

禁煙はなぜ難しいのでしょうか...それはニコチン依存と喫煙習慣(心理的依存)によると考えられています。体からニコチンが切れるとイライラや落ち着かないなどの離脱症状が起こるため喫煙したくなるのです。また、食後の一服や仕事後の一本などといった習慣も禁煙を難しくする原因となっています。禁煙にはこれら二つの依存を克服する必要があります。

◆禁煙外来とは？

これまで禁煙治療は保険適応がなく、当院でも予防医療センターにて禁煙指導を自費診療で行ってきました。2006年度から禁煙外来が保険適応となり、当院でも開設条件を満たしたことで今年度より開始することになりました。実際に禁煙外

来を受診していただくには以下のような条件を満たす必要があります。①禁煙を希望している、②簡単な質問票でニコチン依存症と判断される、③1日の喫煙本数×喫煙年数が200以上である(例えば1日20本×10年間=200)、④文書による同意をいただける、です。もしこれらの条件に合わない場合は健診センターでの自費診療をお勧めすることもあります。詳しくは予約受付の際にご説明いたします。外来の内容としては、3か月間で計5回の受診をしていただき、禁煙補助剤(内服薬か貼付剤)による薬物療法とカウンセリングを行います。

◆禁煙しませんか？

禁煙によって咳・痰が軽くなる、がんや血管の病気の危険性が低くなることなどが分かっています。また、例えば1箱400円のタバコを毎日1箱吸うと1年間で約16万円の出費となりますが、禁煙することで節約にもなります。このように、禁煙は健康面だけでなく経済面でも有効な「治療」です。予約は内科外来で受け付けていますので、興味のある方は気軽にご相談ください。なお、できるだけ午後にお問い合わせしていただけますようお願い申し上げます。スタッフ一同で皆さんの禁煙のお手伝いをいたしますので、ぜひ一緒に禁煙しましょう！





臨床検査技師の役割

臨床検査科技師長 福田 隆広

臨床検査技師の仕事は、病気の予防や診断・治療のために必要な検査を実施し信頼性の高いデータを提供することです。法律では、「医師の指示の下に検体検査などの他に生理学的検査を行う事ができる。また、診療の補助として採血（おおむね20ml以内）も業務の一環として認める」と定められています。当然、国家試験に合格しないとできません。

今では、心電図検査や超音波検査（腹部・心臓・乳腺・頸動脈・下肢静脈）などの生理機能検査の需要が増加しています。臓器の実際の動きや形態を画像に表し、患者さんに苦痛を与えず実施できる検査です。検体検査も医療の高度化に伴い機械化され検査項目が増えることで、検査結果を読み取ることができると高度な知識を持った人材が求められています。検査結果を誰よりも最初に見られるのは臨床検査技師だからです。特に、輸血検査や病理検査は、認定資格の取得が望まれる分野です。また、チーム医療の精神の普及により、糖尿病療養指導や院内感染対策チーム・栄養サポートチームへの参加、患者さんへの検査内容の説明など業務内容は拡大しています。採

血業務は、一昔前ですと看護師さんが行っていましたが、今では、臨床検査技師の業務に成りつつあります。看護体制の変化により看護師が不足しているのも一つの原因ですが。このような時代に、臨床検査技師は、患者さんのために医師・看護師の協力を頂き業務に邁進しなくてはなりません。多くの要望に全て対応できませんが、優先順位に従って一つでも多く実施したいと考えます。その事が病院内に検査科が配置されている意義が増大するのです。

検査科で検査を待っている時代から患者さんの傍で検査をする時代に変化しています。我々も時代の波に乗り遅れないようにしっかりと前を向いて行きます。過去の思いに浸っていたら取り残されてしまいます。当検査科も皆様から支持されるよう努力をして行きますのでよろしくお願いいたします。

私の車いす生活 ～中部ろうさい病院を退院して～ リハビリテーション科・社会生活講座より

63歳 夫婦で二人三脚! ～外出のあれこれ～

近藤 実男 63歳・頸髄損傷



ウォータージェットで川下り

これまでの経緯

平成9年4月17日、住宅建設現場で落下、豊田の加茂病院に入院。まだ寝たきりになるのははやいと言われ名古屋の労災病院を紹介され6月23日に転院。それからリハビリ開始。最初にできたのが、自分で食事した事(自助具を作ってもらって)。とてもおいしかったです。

何とか車の助手席に乗れるように訓練し移動手段を確保しました。平成10年3月31日労災病院から豊田の加茂病院に。

まだ家に戻りたくなく、なんだかんだと言いながら7月31日まで入院。そして自宅に。でも家は何も改修してません。段差のある所は、スロープを置いて過ごしてました。平成20年バリアフリーの家を建て、引越してきました。仕事はしてません。頸髄損傷者連絡会¹⁾に参加し勉強会やら遊びに夢中。

外出について

平成10年7月31日に自宅に戻り、何もしなくただ寝てただけでした。

愛知の頸髄損傷者連絡会に誘われ即入会。それからポチポチと外へ。

そして最初にした事は、労災病院の同期生と旅行、夫婦2組で。

お互い主人が頸髄損傷。その時初めて温泉に入りました。

何も分からず…でも、旅行が出来るんだ…と。

頸髄損傷者連絡会の全国総会で東京・大阪等色々行きました。

そしてイチバン驚いた事が、グライダーに乗ったこと。

京都会員の紹介で、大野グライダーの会員になり、

20回ほど同乗させてもらい、随分世界をあじわいました。

これは今でもいい思い出です。

最近は体調がよくなり、残念ながら乗ってません。

移動手段は、車ばかりです。だから電車に乗るときは少しドキドキ。

平成20年9月、北海道に行きました。往復船で(車2台持込)、

車いす3人・健常者2人。

天気に恵まれ、食べ物は美味しく、車いすの人も温泉に入れ、

とても楽しかったで～～～す。さすがにデッキイドウ～～。

バリアフリーの家に来たら、よけいダラケテます。

頸髄損傷者連絡会には今でも積極的に参加してます。

時間外や貸切のお風呂に！
奥様同士が協力して入浴介助

大野グライダーにて



リフトバスで1泊旅行

¹⁾ 1973年に発足した頸髄損傷当事者の組織。頸髄損傷者への情報提供、親睦交流、行政交渉などを行い、頸髄損傷者の抱える問題を解決するために活動している。

*** リハビリテーション科・社会生活講座とは ***

入院患者さん向けの生活支援応援会。社会復帰して活躍されている脊髄損傷者の方に、地域社会での生活について情報提供してもらおうピアサポートの場。患者さん・ご家族の元気力アップと悩み解決に役立つ講座となるよう活動しています。

…………… 看護部のページ ……………

中部ろうさい病院認定看護師の紹介

中部ろうさい病院において、認定看護師が活動していることはご存知でしょうか？

日本看護協会のホームページによると、認定看護師とは、「特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践ができ、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的」に、専門的教育・研修を受け、資格認定された看護師のことです。

当院においても、9名の認定看護師が活動をしており、各自が専門的な知識や技術をもって患者さん、ご家族のケアを行っております。それぞれが得意としていることがあります。各自の紹介をぜひ、ご覧ください。

緩和ケア認定看護師

渡邊 尚美

『緩和ケア』をご存知ですか？『緩和ケア』は、がんと診断されたときから、がんに伴うさまざまな身体や気持ちの辛さに向き合い、自分らしく過ごせるようにお手伝いさせていただくことです。当院では、緩和ケアチームが活動をしており、患者さんやご家族が心配されていることを伺い、主治医の先生や看護師と共に、よりよく過ごせるためのケアを一緒に考えています。ぜひ、「緩和ケアチームに相談したい」とお声をかけてください。

がん化学療法看護認定看護師

後藤 真澄

抗がん剤によるがん治療を、安全に、安心して、できるだけ楽に受けて頂けるようにお手伝いしています。治療を始める不安や、副作用の予防や対処方法など、お気軽にご相談下さい。外来化学療法室では、リラックスできるスペースと様々な資料をご用意しています。どなたでもご利用頂けますので、ぜひお立ち寄りください。

集中ケア認定看護師

内山 泉

重症患者さんを対象に集中治療室において、きめ細やかな専門的な看護を提供しています。また、集中治療室に入られる患者さんのご家族の不安が少しでも和らげるようにお手伝いをさせて頂いています。

普段は集中治療室にいますが、病棟で生命維持装置をつけている患者さんのもとへ行きスタッフと共にケアをおこないます。

医師、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士と協力して、一日も早い回復を目指し患者さんと共にがんばっています。

感染管理認定看護師

小林 明美

病院には、はしかやインフルエンザなど他者にも感染する病気を罹って受診する方や、手術後や治療中で抵抗力が落ちて感染しやすい方が訪れます。当院は、患者さんや職員が院内感染に「かからない！うつさない！」を目標に感染対策に取り組んでいます。

誰でも使用できるように玄関や病室内に手指消毒剤を設置しています。ぜひ、ご利用ください。また、ご自宅でお困りのことがありましたらご相談ください。

皮膚・排泄ケア認定看護師

櫻井 由妃子

なかなか治らない傷や床ずれ、人工肛門・人工膀胱のケア、失禁ケアについてお困りではありませんか？

皮膚・排泄ケア認定看護師はそんな患者さんに対し、ケアや日常生活の相談にのり、日常生活が快適に送れるよう支援しています。

また糖尿病センターと協力し、糖尿病の方の足かきよう予防を目的とした「フットケア相談室」を行っています。糖尿病の方で足のケアにお困りの方はご相談下さい。

救急看護認定看護師

酒井 麻希子

救急外来には、不慮の事故による外傷、脳卒中や心筋梗塞などの突発的な発症や慢性疾患の急性増悪、各種中毒など、多種多様な疾病・外傷を有した患者さんとそのご家族が多数来院されます。こうした救急場面で確実な救命技術を実践し、危機状況にある患者さんやご家族の方への精神面の援助も行うことができるよう、また災害時に災害拠点病院としての役割が果たせるよう活動しています。

認知症看護認定看護師

滝沢 なぎさ

認知症看護認定看護師の目標として、認知症の方・ご家族の方が、安心して生活できる環境作りを目指しています。認知症の発症から終末期までの看護、介護家族のサポートを行います。認知症になると、今まで一人でできていたことが少しずつできなくなっていきます。できることを維持し、できないところを、補うようにしています。認知症の方の言動には必ず理由があるため、その方の代弁者となり、理由と原因を探していきます。

手術看護認定看護師

米村 雅美

こんにちは。手術看護認定看護師の米村です。手術室という特殊な場所で看護に当たることを専門に行っています。また手術の前や後にも関わらせていただいています。ところで皆さんは「手術室って怖い」というイメージはありませんか？確かに「手術」と聞くだけで、気が滅入ってきますよね。だからこそ、手術室には私たち看護師がいます。患者さんのそばに寄り添い、少しでも安心して手術が受けられるように看護に当たっています。手術について何か不明な点、心配な点がありましたら、いつでもご相談下さい。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

廣瀬 みゆき

摂食・嚥下障害があると、食べ物をうまくのみこめなかったり水分でおせたりします。

その結果、摂取量が低下し、脱水をおこしたり栄養状態が悪くなったりします。

そのような症状のある方の、飲み込みの機能を評価し、安全においしく食べる方法を考え、実際に食べる場面でもお手伝いさせていただいております。

市民健康セミナー開催のお知らせ

「心臓病医療の最前線～予防から社会復帰まで～」と題して、10月22日に第1回市民健康セミナーを開催いたします。

心疾患はがん、脳疾患とともに日本人の死因の約6割を占める三大疾病の一つで、特に恐ろしいのが何の症状もなく、健康に暮らしていた人がある日突然、胸痛に襲われて急死する急性心筋梗塞です。

今回の市民健康セミナーでは、心臓病の予防や治療について分かりやすくお話しします。ぜひ、この機会にお越しください。

日時：平成23年10月22日(土)

14:00～16:00

会場：中電ホール

名古屋市東区東新町1番地

中電不動産株式会社 中電本店前

・地下鉄東山線「栄駅」5番出口から東へ
徒歩約5分

入場無料(事前申込制)

※申込用紙がよろず相談室及び、フィリアレター設置場所にありますので、ご興味のある方はご覧下さい。



講演
①突然、胸が痛くなったらどうしますか 中部ろうさい病院 救急センター長 丸井 伸行
②心筋梗塞を起こす前に聞いておくといひ話 中部ろうさい病院 循環器内科部長 天野 哲也
特別講演
胸の痛みを手術で治す 名古屋大学 心臓外科学准教授 碓氷 章彦

～～ 編集後記 ～～

暦で言うと秋となり、朝夕はめっきり過ごしやすくなりましたが、まだまだ日中は暑さが厳しい日が続いています。今年は節電を心がける夏となりましたが、熱中症で倒れる方も例年よりも多くいらっしゃいました。

節電も大事ですが、ご自身の体が第一ですので、無理をなさらないようこれからもお気を付け下さい。(S.O)

当院の理念

皆さんとの出会いを大切に、苦しみを分かち合い、健康で潤いある生活を送れるよう職員一同努めます。

当院の基本方針

- ・ 医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・ 生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・ 人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・ 地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・ 災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

